

ジェンダー研究センター彙報〈平成17年度〉

(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

職名は発令時による

平成17(2005)年度 研究プロジェクト概要

	年 月 日	テ ー マ	報告者、評者等
夜 間 セ ミ ナ ー	夜間セミナー「女、移動、そして再生産労働の政治」 Women, Migration, and the Politics of Reproductive Labor		
	平成17年6月13日	セミナー「再生産労働の国際分業におけるトランスナショナル・フェミニズムの諸問題」 “Transnational feminist issues in the international division of reproductive labor”	ラセル・S・パレーニャス (Rhacel Salazar Parreñas) (米国カリフォルニア大学デイヴィス校アジア系アメリカ文化学科准教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授) コメンテーター：大石奈々(国際基督教大学助教授)
	平成17年6月27日	セミナー「距離の離れた親密圏——母親不在家族のトランスナショナルなコミュニケーション」 “Long distance intimacy: Transnational communication in mother-away families”	ラセル・S・パレーニャス (Rhacel Salazar Parreñas) (米国カリフォルニア大学デイヴィス校アジア系アメリカ文化学科准教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授) コメンテーター：イシカワ・エウニセ・アケミ (静岡文化芸術大学助教授)
	平成17年7月4日	セミナー「人種と階級の地理学——移住フィリピン女性家事労働者の『居場所』と『居場所のなさ』」 “Geographies of race and class: The place and placelessness of migrant filipina domestic workers”	ラセル・S・パレーニャス (Rhacel Salazar Parreñas) (米国カリフォルニア大学デイヴィス校アジア系アメリカ文化学科准教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授) コメンテーター：石塚道子(お茶の水女子大学教授)
	平成17年7月11日	セミナー「アジア系アメリカ女性の派生的な地位」 “The derivative status of Asian American women”	ラセル・S・パレーニャス (Rhacel Salazar Parreñas) (米国カリフォルニア大学デイヴィス校アジア系アメリカ文化学科准教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授) コメンテーター：鄭映恵 (大妻女子大学教授)
	平成17年7月19日	セミナー「米国の人身売買との戦い」 “The U.S war on trafficking”	ラセル・S・パレーニャス (Rhacel Salazar Parreñas) (米国カリフォルニア大学デイヴィス校アジア系アメリカ文化学科准教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授) コメンテーター：稲葉奈々子 (茨城大学助教授)
	夜間セミナー「ラテンアメリカにおけるフェミニズムとポピュラー・カルチャー」 Feminismos y cultura popular en América Latina		
	平成17年12月15日	セミナー「メキシコにおけるフェミニズム運動史の概観」	エリ・バルトラ (Eli Bartra) (メキシコ都立自治大学ソチミルコ校社会科学・人文学部政治文化学科教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授)
	平成17年12月22日	セミナー「メキシコのネオフェミニズム」	エリ・バルトラ (Eli Bartra) (メキシコ都立自治大学ソチミルコ校社会科学・人文学部政治文化学科教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授)
	平成18年1月12日	セミナー「ラテンアメリカとカリブにおける女性学とジェンダー研究」	エリ・バルトラ (Eli Bartra) (メキシコ都立自治大学ソチミルコ校社会科学・人文学部政治文化学科教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授)
平成18年1月19日	セミナー「女性とフォーク・アートに関する一考察——メキシコの事例」	エリ・バルトラ (Eli Bartra) (メキシコ都立自治大学ソチミルコ校社会科学・人文学部政治文化学科教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授)	

	年 月 日	テ ー マ	報告者、評者等
夜間セミナー	平成18年1月26日	セミナー「フェミニズムと文化的多様性——ブラジルにおけるフォーク・アート」	エリ・バルトラ (Eli Bartra) (メキシコ都立自治大学ソチミルコ校社会科学・人文学部政治文化学科教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授)
国際ワークショップ	国際ワークショップ／修善寺研究合宿 (東アジアにおける植民地的近代とモダンガール研究会)		
	平成17年11月2日	報告 足立真理子 (お茶の水女子大学) 「奢侈と資本とモダンガール——資生堂企業史研究」 報告 坂元ひろ子 (一橋大学) 「上海モガ (摩登女郎) の形成と表象」 報告 小山 直子 (お茶の水女子大学) 「〈満州〉ポスターの女性像」 報告 館 かおる (お茶の水女子大学) 「〈満州〉における植民地的近代とモダンガール」 ビデオ上映 『迎春花』 解説 館かおる (お茶の水女子大学)	
	平成17年11月3日	報告 伊藤 るり (お茶の水女子大学) 「帝国の周辺における〈モダンガール〉という問題——1920年代、30年代沖縄における植民地的近代と女のモビリティ」 報告 佐藤バーバラ (成蹊大学) 「だれがモダンガールだったか?——1920年代の消費と女性」 報告 小檜山レイ (東京女子大学) 「モダンガールの時代の恋愛と結婚——『婦人の友』は何を語ったか」 報告 ヴェラ・マッキー (メルボルン大学) “Reading the Moga through Colonial Modernity” 報告 タニ・バーロウ (ワシントン大学) “History and the Border” 報告 キム・ウンシル (梨花女子大学) “Na Hyesuk’s experience of the West and the Representation of the Colonial Chosun” 報告 戴錦華 (北京大学) 「食い違う〈モダンガール〉」	

21世紀 COE プロジェクト「ジェンダー研究のフロンティア」概要

日付	企画	事業区分	事業名	実施場所
4/1~ 4/3	C5	調査	〈釧路〉性と生殖の観念等についてのインタビュー調査 道信良子(札幌医科大学・COE 客員研究員)／猪瀬優理(COE 研究協力者)	釧路
4/2	C6	研究会	「健康・セクシュアリティとジェンダー」 「女性身体の医療人類学的考察：無痛分娩が普及しない背景」 【報告】田辺けい子(お茶の水女子大学大学院博士後期課程)	お茶の水女子大学
4/15~ 4/16	A3	若手支援	ケースメソッドセミナー 『ジェンダーと開発』をケースメソッドで学び、教える」 【講師】毛利勝彦(国際基督教大学) 【協力】田中由美子(国際協力機構・COE 客員研究員) 【司会】伊藤るり(お茶の水女子大学・COE 事業推進者)	お茶の水女子大学
4/22	B	研究会	「パネル研究会」 中国パネル第2年度調査 調査票検討会	お茶の水女子大学
4/24	DB 英	研究会	「文化表象データベース(英語圏)」研究会 第2回 【講師】小山直子(COE 客員研究員) 【司会】竹村和子(お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)	お茶の水女子大学
4/25	C1/2	研究会	「ジェンダーと科学技術史・科学技術政策」研究会 「ジェンダーと科学技術史のカリキュラムの検討——L.シービンガーのシラバスと米国、英国における事例紹介」 【報告】小川真里子(三重大学・COE 客員研究員) 伊藤憲二(東京大学先端科学技術研究センター・COE 研究員) 三村恭子(COE 研究協力者) 【司会】館かおる(お茶の水女子大学・COE 事業推進者)	お茶の水女子大学
4/25	B	研究会	「パネル研究会」 調査票検討会 【司会】篠塚英子(お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)	お茶の水女子大学
4/28	B	研究会	「パネル研究会」 中国・韓国調査 調査票検討会	お茶の水女子大学
5/2	B	研究会	「パネル研究会」 中国パネル第1年度調査報告会	お茶の水女子大学
5/13	A2	研究会	「アジアにおける国際移動とジェンダー配置」第9回研究会 「香港の新貧困層と女子労働——東アジア『福祉国家』論への視角」 【報告】沢田ゆかり(東京外国語大学外国語学部) 【司会】伊藤るり(お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)	お茶の水女子大学
5/15~ 5/17	B	出張	〈ソウル〉韓国パネル調査第3年度契約と調査票検討 御船美智子(お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者) 李秀眞(COE 研究員)	ソウル
5/21	A2	研究会	「アジアにおける国際移動とジェンダー配置」第10回研究会 【報告】稲葉奈々子(茨城大学・COE 客員研究員) 澤田佳世(日本学術振興会特別研究員) 「香港政庁の家事労働者受け入れ政策と推移」 ブレンダ・テネグラ(COE 研究員) 「家事労働者の権利状況と組織化」 小ヶ谷千穂(横浜国立大学) 「香港における移住家事労働者の組織化について ——インドネシア人家事労働者の例と地元労組との 相互関係を中心に」 伊藤るり(お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者) 「グローバル化のものと香港とジェンダー再配置 ——二極化する社会の生産労働と再生産労働」 【司会】大橋史恵(COE 研究員)	お茶の水女子大学
5/25	B	研究会	「パネル研究会」 中国・韓国調査 調査票検討会 【司会】篠塚英子(お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)	お茶の水女子大学

日付	企画	事業区分	事業名	実施場所
5/28	A3	研究会	「ローカル・センシティブな開発とジェンダー」第2回研究会 「エジプトにおけるキャリアウーマンの家族観 ——中東の『家父長制的』ジェンダー関係の再考察」 【報告】鳥山純子 (COE 研究員) 【コメンテーター】藤掛洋子 (東京家政学院大学大学院) 【司会】倉光ミナ子 (お茶の水女子大学大学院)	お茶の水女子大学
6/2	C1/2	研究会	「ジェンダーと科学技術史・科学技術政策」研究会 『ジェンダーと科学技術』に関わるDVD教材の検討 【司会】館かおる (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)	お茶の水女子大学
6/3～ 6/10	B	研究会	「パネル研究会」 調査票翻訳検討会	お茶の水女子大学
6/14	DB 視	研究会	「文化表象データベース・視覚表象」研究会 第1回 【講師】小山直子 (COE 客員研究員) 【司会】天野知香 (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)	お茶の水女子大学
6/16	B	研究会	労働組合調査研究会 調査データ処理手法に関する研究会	お茶の水女子大学
6/18	D 日	研究会	「日本文学におけるジェンダー表象」研究会 第6回 「日本語研究とジェンダー ——規範としてではなく、構築される現象としての“言葉”」 【報告】高崎みどり (お茶の水女子大学) 【司会】内海紀子 (COE 研究員)	お茶の水女子大学
6/20～ 6/24	全	若手支援	Women's Worlds 2005 (9th International Interdisciplinary Congress on Women) 若手研究員への学会参加旅費支援 【旅費支援対象者】石塚浩美 (COE 研究員) / 李秀貞 (COE 研究員) 大橋史恵 (COE 研究員) / 竹沢純子 (COE 研究員) ブレンダ・テネグラ (COE 研究員) 落合絵美 (お茶の水女子大学大学院博士前期課程) 李麗華 (お茶の水女子大学大学院博士前期課程)	韓国 梨花女子大学校
6/19～ 6/24	A2	研究発表	Women's Worlds 2005 【報告】伊藤るり (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者) “Internationalizing Reproductive Labor in a Super-Aged Society? Japan's New Immigration Policy and Its Implications for Care Work” 安里和晃 (日本学術振興会特別研究員・COE 研究協力者) “Foreign Domestic Workers/Caregivers in Welfare Regime” 小ヶ谷千穂 (横浜国立大学・COE 研究協力者) “Empowerment as a Multi-Dimensional Process: Filipinas and Their Social Activites in Japan” ブレンダ・テネグラ (COE 研究員) “Enfranchisement and the Politics of Belonging: The Case of Filipinas in Tokyo”	韓国 梨花女子大学校
6/22～ 6/24	B	研究発表	Women's Worlds 2005 パネル調査成果発表「Comparative Study on Gender Gap within Household and the Labor Market in Korea, China and Japan: Analyzing Ochanomizu University Panel Study on Gender and Work」 【報告】永瀬伸子 (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者) 石塚浩美・李秀貞・竹沢純子 (COE 研究員) 杉橋やよい (お茶の水女子大学)	韓国 梨花女子大学校
6/22	D	研究発表	Women's Worlds 2005 “Representation of Women in the Age of Art Deco” 【報告】天野知香 (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者) “What Did She Read?: Post-War Japanese Cultural Occupation and Translated Girls' Literature” 【報告】越智博美 (一橋大学・COE 客員研究員) “Theorizing the Experience of Asian Women's Studies in Globalizing Era” 【コメント】竹村和子 (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)	韓国 梨花女子大学校

日付	企画	事業区分	事業名	実施場所
6/24~ 6/26	B	出張	〈北京〉中国パネル調査実施状況視察 永瀬伸子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者） 辺静（お茶の水女子大学大学院博士後期課程）	北京
6/25	C6	研究会	「健康・セクシュアリティとジェンダー」 「性別違和と自己決定：失敗する自由について」 【報告】東優子（大阪府立大学）	お茶の水女子大学
6/29	B	研究会	「パネル研究会」 【司会】篠塚英子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）	お茶の水女子大学
6/30	C4	成果刊行	F-GENS Publication Series 8 Reproductive Health /Rights in Asia within the Process of Policy making for the Elimination of Violence: A Case Study in the Philippines	—
6/30	B	成果刊行	F-GENS Publication Series 9 東アジアパネル調査に関する国際会議報告書	—
7/1	A1	講演会	講演会「スカンジナビアの家族と法——ノルウェーを中心に」 【講師】Hege Braekhus (University of Tromsø) 【司会】戒能民江（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）	お茶の水女子大学
7/1	D日 共催 ゴアスター 授業	特別講義	特別講義「戦争・女性・記憶——戦争を知らないあなたにとって『戦争 の記憶』とは」 【講師】米田佐代子（女性史研究者）	お茶の水女子大学
7/5~ 7/10	B	調査	〈ストックホルム〉スウェーデン統計局でのジェンダー統計資料収集ほか 永瀬伸子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）	ストックホルム
7/5~ 7/9	B	研究発表	World Congress of the International Institute of Sociology パネル調査成果発表 「Work Opportunity, Marriage and Child-Bearing: Comparison Between Japan, Korea and Urban China」 【報告】永瀬伸子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）	ストックホルム
7/9	A2	研究会	「アジアにおける国際移動とジェンダー配置」第11回研究会 「ケア職員の専門性と施設ケア秩序——介護老人保健施設の場合」 【報告】吉岡なみ子（お茶の水女子大学大学院博士後期課程） 【司会】伊藤るり（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）	お茶の水女子大学
7/9	D英	研究会	「英語圏ジェンダー理論／表象研究会」第4回文献討論会 「Juliet Mitchell, <i>Psychoanalysis and Feminism</i> を読む」 【司会・報告】河野貴代美（お茶の水女子大学） 【報告】武田美保子（京都女子大学） 大塚奈穂子（お茶の水女子大学大学院博士後期課程） 河野智子（お茶の水女子大学大学院博士後期課程） 岩田和男（愛知学院大学）／武田悠一（南山大学）	お茶の水女子大学
7/16	A3	研究会	ケースメソッドセミナー 第1回フィールドテスト 【報告】倉光ミナ子（お茶の水女子大学）／田宮遊子（神戸学院大学） 越智方美（お茶の水女子大学大学院博士後期課程） 平野恵子（学術振興会 COE 特別研究員）	お茶の水女子大学
7/16	D日	講演会	講演会「漱石『趣味の遺伝』のセクシャリティ——身体そして〈物語〉 から」 【講師】小嶋菜温子（立教大学） 【コメンテーター】大塚美保（聖心女子大学）／小森潔（湘北短期大学） 鈴木啓子（宇都宮大学） 【司会】菅聡子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）	お茶の水女子大学
7/18	統括	研究会	「アジア認識とジェンダー」研究会 第2回「東アジアの脱軍事化とジェ ンダー研究——権仁淑論文の検討を通して」 【報告】金富子（COE 研究員）／秋林こずえ（COE 研究員） 【司会】館かおる（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）	お茶の水女子大学

日付	企画	事業区分	事業名	実施場所
7/19	A3	研究会	「ローカル・センシティブな開発とジェンダー」第3回研究会 村松安子『「ジェンダーと開発」論の形成と展開——経済学のジェンダー化への試み』を読む 【評者】倉光ミナ子（お茶の水女子大学）／古沢希代子（東京女子大学） 大沢真理（東京大学） 【リプライ】村松安子（元東京女子大学教員） 【司会】田中由美子（国際協力機構・COE 客員研究員）	お茶の水女子大学
7/22	D 英	映画上映 + 講演会	女性映像作家 Film & Talk 【上映作品】 <i>Stripped & Teased: Tales from Las Vegas Women</i> 【講師】Amie Williams（映画製作者／監督／脚本家） “Women behind the Lens” 【コメンテーター】中野理恵（映画配給『パンドラ』代表） 【司会】高橋裕子（津田塾大学・COE 客員研究員）	お茶の水女子大学
7/23	A1	研究会	「DV・シングルマザー研究会」 「台湾におけるジェンダー関連政策」 【講師】金戸幸子（東京大学大学院博士後期課程） 【司会】戒能民江（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）	お茶の水女子大学
7/23	B	研究会	「パネル研究会」 中国パネル 第1年度調査報告会 【報告】永瀬伸子・篠塚英子・水野勲 （お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者） 鄭躍軍（総合地球環境学研究所・COE 客員研究員） 杉橋やよい（お茶の水女子大学） 水落正明・石塚浩美・竹沢純子・李秀真（COE 研究員） 山谷真名（COE 教務補佐員） 辺静（お茶の水女子大学大学院博士後期課程） 大竹美登利（東京学芸大学） 長町理恵子（日本経済研究センター） 村尾祐美子（東洋大学） 【コメンテーター】村上直樹（日本大学） 鄭躍軍（総合地球環境学研究所・COE 客員研究員） 秋山洋子（大連大学） 【司会】篠塚英子・永瀬伸子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）	お茶の水女子大学
7/24	C6	研究会	「健康・セクシュアリティとジェンダー」 『自己決定』概念の道德哲学的検討 【報告】根村直美（日本大学・COE 客員研究員）	お茶の水女子大学
7/24	DB 英	研究会	「文化表象データベース（英語圏）」研究会 第3回 【講師】小山直子（COE 客員研究員） 【司会】竹村和子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）	お茶の水女子大学
7/25	A2	研究会	「アジアにおける国際移動とジェンダー配置」第12回研究会 「The Underside of Globalization: Asian Immigrant Workers in Late Capitalist America」 【報告】Evelyn Hu-DeHart（ブラウン大学） 【司会】伊藤るり（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）	お茶の水女子大学
7/27	B	講演会	講演会「韓国の経済社会と家族の今——1997年経済危機のインパクト」 【講師】服部民夫（東京大学） 【司会】御船美智子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）	お茶の水女子大学
7/30～ 7/31	ハラスメント 研究	出張	キャンパス・セクシュアル・ハラスメント全国ネットワーク第11回全国 集会 大理奈穂子（COE 研究員）	大阪
7/30～ 8/12	C4	調査	〈マニラ・ダバオ〉行政機関・NGO などでのインタビュー調査 原ひろ子（城西国際大学・COE 事業推進担当者） 中山まき子（同志社女子大学・COE 客員研究員） 渡辺美穂（国立女性教育会館）	マニラ・ダバオ

日付	企画	事業区分	事業名	実施場所
8/1	C1/2	研究会	「ジェンダーと科学技術史・科学技術政策」研究会 【報告】小川真里子(三重大学・COE 客員研究員)「科学技術とジェンダー」 館かおる(お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者) 小山直子(COE 客員研究員) 「ウェブリンク解析にみるジェンダーコミュニティ」 伊藤憲二(COE 研究員) 「『国際科学史学会』及び『Digital Game Research Association ゲーム研究学会』におけるジェンダー視点の研究について」 横山美和(お茶の水女子大学大学院博士前期課程) 「WW05(国際学際的女性学会)における『ジェンダーと科学技術』関係報告」	お茶の水女子大学
8/10	C3	研究会	「ポストゲノム時代における生物医学とジェンダーに関する研究会」第12回 「卵を提供するということ——厚労省特別研究班当事者ヒアリング調査から」 【講師】齋藤有紀子(北里大学) 【コメンテーター】佐藤(佐久間)りか(COE 研究協力者)	お茶の水女子大学
8/14~ 8/21	A1	調査	〈台湾〉シングルマザー研究会調査 戒能民江(お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者) 庄司洋子(立教大学)/田中弘子(愛媛大学)/湯澤直美(立教大学)	お茶の水女子大学
8/25	B	研究会	「パネル研究会」 中国パネル調査 第3年度・第4年度分調査票検討会	お茶の水女子大学
9/1	A2	研究会	「アジアにおける国際移動とジェンダー配置」第13回研究会 「『伝統的女性労働』から『専門職』への移行は可能か——介護保険制度下の日本のケアワークのあり方」 【報告】笹谷春美(北海道教育大学) 【司会】定松文(恵泉女学園大学)	お茶の水女子大学
9/7	B	研究会	「パネル研究会」 中国パネル調査 第3年度・第4年度分調査票検討会	お茶の水女子大学
9/14	A3 共催 国際ジェンダー学会	講演会	スシュマ・ジョシ講演会+映画「パニ(水)」上映 A3「ローカル・センシティブな『開発とジェンダー』政策」第4回研究会 「ネパールにおけるコミュニティ、紛争、そして正義」 【講師】スシュマ・ジョシ(フリージャーナリスト) 【司会】佐野麻由子(立教大学大学院博士後期課程)	お茶の水女子大学
9/20	(共催) A1	シンポジウム	「ドメスティック・バイオレンス加害者への法的対応」 【主催】男女共同参画センター横浜 【出席】コーディネーター 戒能民江(お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)	男女共同参画 センター横浜 「フォーラム」
9/24	C6	研究会	「健康・セクシュアリティとジェンダー」 【報告】田中俊之(武蔵大学) 「『男性問題』としての不妊——〈男らしさ〉と生殖能力の関係をめぐって」	お茶の水女子大学
9/26	B	研究会	「パネル研究会」 中国パネル調査 第3年度・第4年度分調査票検討会	お茶の水女子大学
9/30	C3	調査	〈大阪〉産婦人科内診台調査 小門穂(京都大学大学院博士後期課程・科学技術文明研究所) 三村恭子(COE 研究協力者)	大阪
9/30	A3	成果刊行	F-GENS Publication Series 10 若手支援のためのワークショップ報告書 2005年1月29日・30日 「ジェンダーの視点から開発の「場所」を考える——開発実践者・研究者の コラボレーションをめざして」	—
10/1	A2	研究会	「アジアにおける国際移動とジェンダー配置」第14回研究会 N. Oishi「Women in Motion」を読む 【評者】小ヶ谷千穂(横浜国立大学)/安里和晃(学術振興会特別研究員) 【リプライ】大石奈々(国際基督教大学) 【司会】イシカワ・エウニセ・アケミ(静岡文化芸術大学)	お茶の水女子大学

日付	企画	事業区分	事業名	実施場所
10/6~ 10/9	C3	ワークショップ	「ポストゲノム時代における生物医学とジェンダーに関する研究会」ワークショップ 【報告】 柘植あづみ (明治学院大学・COE 事業推進担当者) 「医療における意思決定の日米比較」 渡邊智子 (丸山産婦人科医院) 「女性の生涯をどのように支えるか——産婦人科開業医として」 佐藤(佐久間)りか (COE 研究協力者) 「EBM (evidence-based-medicine) と NBM (narrative-based-medicine) ——ジェンダーの視点から」 小門穂 (科学技術文明研究所/京都大学大学院博士後期課程) 三村恭子 (COE 研究協力者) 「産婦人科内診台のデザインと女性への考慮に関する考察」 武藤香織 (信州大学・COE 客員研究員) 「社会化する DNA アイデンティティ——オーダーメイド医療から鑑定ビジネスまで」 洪賢秀 (科学技術文明研究所) 「韓国における不妊女性の居場所」 張瓊方 (科学技術文明研究所) 「台湾の出産事情と優生思想から考える」 【見学】 丸山産婦人科医院	軽井沢町
10/8	D 英 C6 DB 英	研究会	「英語圏ジェンダー理論/表象研究会」第5回文献討論会 Elizabeth Grosz, <i>Volatile Bodies: Toward a Corporeal Feminism</i> 【司会・報告】 三浦玲一 (一橋大学・COE 客員研究員) 【報告】 鶴殿えりか (愛知県立大学・COE 客員研究員) 内堀奈保子 (COE 研究員) 津田久美子 (お茶の水女子大学大学院博士後期課程) 和泉邦子 (金沢大学) 佐藤(佐久間)りか (COE 研究協力者)	お茶の水女子大学
10/10~ 15	B	研究会	「パネル研究会」 中国パネル調査 調査データ処理手法に関する研究会	お茶の水女子大学
10/12	A3	研究会	「ローカル・センシティブな『開発とジェンダー』政策」第5回研究会 「JICA アフガニスタン女性の経済的エンパワーメント支援プロジェクト——バーミヤンからの活動報告」 【講師】 小林花 (JICA) 【司会】 鳥山純子 (COE 研究員)	お茶の水女子大学
10/12	C3	調査	〈東京〉産婦人科内診台調査 小門穂 (京都大学大学院博士後期課程・科学技術文明研究所) 三村恭子 (COE 研究協力者)、佐藤(佐久間)りか (COE 研究協力者)	東京
10/15	D 視	研究会	ジェンダーに基づく視覚表象の分析と理論 第2回文献検討会 Griselda Pollock 「Looking Back to the Future: Essays on Art, Life and Death」 【発表】 中嶋泉 (一橋大学大学院博士後期課程) 【コメンテーター】 香川檀 (武蔵大学) 【司会】 天野知香 (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)	お茶の水女子大学
10/16	C 共催 国立民族学博物館	シンポジウム	公開シンポジウム「生殖のストラテジー 日本、韓国、沖縄の比較を通して」 【基調講演】 荻野美穂 (大阪大学) 「『産めよ殖やせよ』から『家族計画』へ：人口管理の政治学」 【パネリスト】 松本綾子 (お茶の水女子大学大学院博士前期課程修了生) 「ピルはなぜ嫌われるのか？ ——戦後日本における避妊をめぐるポリティクス」 澤田佳世 (日本学術振興会特別研究員) 「生殖をめぐる交渉——米軍統治と沖縄の家族計画」 山地久美子 (神戸大学大学院博士後期課程) 「韓国の人口政策——少子化・男児選好・ リプロダクティブヘルス/ライツ」 【総合コメンテーター】 佐藤龍三郎 (国立社会保障人口問題研究所) 【コメンテーター】 荻野美穂 (大阪大学)/宮下克也 (北里大学) 仲川裕里 (専修大学) 【司会・主旨説明】 波平恵美子 (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者) 【共催挨拶】 田村克己 (国立民族学博物館) 館かおる (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)	代々木オリンピック記念青少年総合センター

日付	企画	事業区分	事業名	実施場所
10/22	C6	研究会	「健康・セクシュアリティとジェンダー」 【報告】柳原良江 (COE 研究員) 「日本における女性の自己決定権の変遷と現状——セクシュアリティ研究における自己決定概念の展開の一助として」	お茶の水女子大学
10/21～ 10/22	B	若手支援	東北経済学会 若手研究員への学会参加旅費支援 【旅費支援対象者】水落正明 (COE 研究員)	福島
10/24	C1/2	研究会	「ジェンダーと科学技術史・科学技術政策」研究会 「ジェンダーと科学技術」関係の論文報告と学会報告 【報告】三村恭子 (COE 研究協力者) 「医療技術とジェンダー——マンモグラフィー (乳房X線撮影) を事例として」 小川眞里子 (三重大学・COE 客員研究員) 「男の科学観、女の科学観」(『科学』9月号、2005) 森義仁 (お茶の水女子大学) 館かおる (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者) 「第3回男女共同参画学協会シンポジウム——21世紀の産業を拓く男女共同参画」報告	お茶の水女子大学
10/26	B	研究会	労働組合調査研究会 「労働組合とジェンダー」調査報告会	お茶の水女子大学
10/26～ 10/29	B	出張	〈ソウル〉韓国パネル調査・調査票検討 御船美智子 (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者) 李秀眞 (COE 研究員)	ソウル
10/29	B	研究発表	大韓家政学会 韓国パネル調査研究報告 御船美智子 (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者) 李秀眞 (COE 研究員)	ソウル
10/29	A3	研究会	「ローカル・センシティブな『開発とジェンダー』政策」第6回研究会 「オセアニアにおけるジェンダー・社会・開発」 【報告】窪田幸子 (広島大学総合科学部助教授) 「アポリジニの社会変化と女性」(仮題) 熊谷圭知 「『ジェンダーと開発』における男性の位置——パプアニューギニアの事例を通じて」 【コメンテーター】村山真弓 (アジア経済研究所・COE 客員研究員) 倉光ミナ子 (お茶の水女子大学)	お茶の水女子大学
10/31	B	成果刊行	F-GENS Publication Series 11 家族・仕事・家計に関する国際比較研究 中国パネル調査 第1年度報告書	—
11/5～ 11/6	全	シンポジウム	第2回F-GENSシンポジウム「ポスト冷戦期のアジアとジェンダー研究」 基調講演「ポスト冷戦期の文化政治とジェンダー」 【講演】戴錦華 (北京大学) 第1セッション「冷戦期以降の〈他者〉としての日本——ジェンダー表象の政治」 【報告】新城郁夫 (琉球大学) / 新田啓子 (一橋大学・COE 客員研究員) キム・ウンシル (梨花女子大学校 [韓国]) 【ディスカッサント】坂元ひろ子 (一橋大学) ヴェラ・マッキー (メルボルン大学) 【コメンテーター】戴錦華 (北京大学) タニ・バーロウ (ワシントン大学) 若手研究者企画セッション「アジアから発信するジェンダー研究の現在(いま)——若手研究者の視点から」 分科会A「境界に挑戦する——ジェンダー、人種、階級、国家」 【報告】小林淳子 / 丹羽敦子 / 松永典子 (お茶の水女子大学大学院博士後期課程・COE 公募研究採択者) 鳥山純子 (COE 研究員) 【コメンテーター】徐阿貴 (お茶の水女子大学大学院博士後期課程・COE 公募研究採択者) 山口菜穂子 (COE 研究員)	お茶の水女子大学

日付	企画	事業区分	事業名	実施場所
11/5～ 11/6	全	シンポジウム	分科会B「暴力の不可視性——文化の脱ジェンダー化をめざして」 【報告】内海紀子／大理奈穂子（COE 研究員） 小門穂（京都大学大学院博士後期課程・COE 研究協力者） 柳原良江（COE 研究員） 【コメンテーター】倉田容子（COE 研究員） 古澤有峰 （東京大学大学院博士後期課程・COE 研究協力者） 第2セッション「変貌するアジアとジェンダー平等政策の困難」 【報告】竹村和子／篠塚英子／波平恵美子／戒能民江 （お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者） 【コメンテーター】伊藤るり（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者） 柘植あづみ（明治学院大学・COE 事業推進担当者） ラセル・パレーニャス（カリフォルニア大デイヴィス校）	お茶の水女子大学
11/12	C3	調査	〈東京〉産婦人科内診台調査 小門穂（京都大学大学院博士後期課程・科学技術文明研究所） 三村恭子（COE 研究協力者）	東京
11/13～ 11/24	A2	研究発表 若手支援	国際会議「女性の移動（Mobilités au féminin）」（於モロッコ・タンジェ） にて報告及びイギリスでの調査・資料収集 若手研究者への学会参加旅費支援 【旅費支援対象者】越智方美（COE 研究員）	モロッコ・タンジェ イギリス・ロンドン、 オックスフォード
11/19	D 日	研究会	「日本文学におけるジェンダー表象」研究会 第7回 【報告】浅野麗（慶応大学大学院博士後期課程） 「笹野頼子『水晶内制度』を読む——呪語が開く連帯の可能性」	お茶の水女子大学
11/19	A2	研究会	「アジアにおける国際移動とジェンダー配置」第15回研究会 【報告】ラセル・パレーニャス（カリフォルニア大学デイヴィス校） 「Migrant Filipinas in Tokyo's Nightlife Industry」 【司会】伊藤るり（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）	お茶の水女子大学
12/3	C6	研究会	「健康・セクシュアリティとジェンダー」 【報告】菅野摂子（立教大学大学院） 「知らせないことは可能か？ ——超音波検査における胎児の状態の認知と告知」 佐藤（佐久間）りか（COE 研究協力者） 「視覚障害者のセクシュアリティ形成プロセスについて ——インタビュー調査の中間報告」	お茶の水女子大学
12/6～ 12/11	A2	調査	〈台湾〉「アジアにおける国際移動とジェンダー配置」研究会調査 足立眞理子（COE 事業推進担当者）／伊藤るり（COE 事業推進担当者） 小ヶ谷千穂（横浜国立大学）／安里和晃（日本学術振興会特別研究員） 澤田佳世（日本学術振興会特別研究員） 大橋文恵（お茶の水女子大学大学院博士後期課程・COE 研究員）	台湾
12/8～ 12/9	A2	研究発表	国際会議 SouthEast Asian Studies Regional Exchange Program （SEASREP）10th Anniversary Conference “Southeast Asia, A Global Crossroads” ブレンダ・テネグラ（お茶の水女子大学大学院博士後期課程・COE 研究員） “The Social Aspects of Remittance: The Case of Filipina Domestic Workers in Tokyo”	タイ チェンマイ
12/17	A3 共催 国際開 発学会	研究会	「ローカル・センシティブな『開発とジェンダー』政策」第7回研究会 「ミレニアム開発目標とジェンダー平等」 【報告】野上裕生（アジア経済研究所） 「ミレニアム開発目標を『開発とジェンダー』から問い直す」 大崎麻子（国連開発計画） 「MDG のジェンダー主流化を目指して—UNDP の取り組み」	お茶の水女子大学
12/17	D 日	研究会	「日本文学におけるジェンダー表象」研究会 第8回 「戦争未亡人」はどのように描かれたか——林芙美子『うづ潮』畔柳二美 『傷痕』など 【報告】竹内栄美子（千葉工業大学） 【司会】武内佳代（お茶の水女子大学大学院博士後期課程）	お茶の水女子大学

日付	企画	事業区分	事業名	実施場所
12/18	C1/2	研究会	「ジェンダーと科学技術史・科学技術政策」研究会 【報告】小川眞里子（三重大学・COE 客員研究員） 館かおる（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者） 「日本における科学・医療・技術とジェンダー」に関わるテキスト・論文集について 伊藤憲二（COE 研究員）／三村恭子（COE 研究協力者）ほか 「The Gender and Science Reader 読書会報告」 柳原良江（COE 研究員） 「科学・医療・技術とジェンダー」データベースについて、ジュディ・ウェイクマンの著作翻訳計画について 小川眞里子（三重大学・COE 事業推進担当者） 「OECD とフランス政府共同会議、韓国 Pohang 会議報告」	お茶の水女子大学
12/20	C3	調査	〈大阪〉 胞衣処理実態調査 小門穂（京都大学大学院博士後期課程・科学技術文明研究所） 三村恭子（COE 研究協力者）	大阪
12/21	(共催) B	研究発表	第5回パネル調査カンファレンス 【主催】(財)家計経済研究所 【出席】報告：水野勲（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者） 「F-GENS パネルデータによる居住・通勤の分析」 司会：御船美智子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）	ホテルグランド ヒル市ヶ谷
12/22～ 12/23	全 共催 COE人 間発達	若手支援	院生・若手研究者支援集中講座 「フィールドワーク」（マイクロ・エスノグラフィー）の手法 [基礎] 【講師】箕浦康子（お茶の水女子大学） 【コーディネーター】熊谷圭知（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）	お茶の水女子大学
1/7	A3	研究会	「ローカル・センシティブな『開発とジェンダー』政策」第8回研究会 【報告】倉光ミナ子（お茶の水女子大学） 「開発プログラムにおける参加、ジェンダー、そして、ローカル： 南太平洋サモアからの一考察」	お茶の水女子大学
1/7	統括	シンポジウム	「アジア認識とジェンダー」研究会シンポジウム 「東アジアの『戦後』60年：軍事化とセクシュアリティ」 【基調報告】権仁淑（明知大学校 [韓国]） 「韓国の軍事化とマスキュリティ」 【通訳】金榮（在日朝鮮人運動史研究会） 【報告】秋林こずえ（COE 研究員）「東アジアの米軍とセクシュアリティ」 金富子（韓神大学校 [韓国]）「NHK 番組改変事件とジェンダー」 周一川（COE 研究員）「趙薇事件について」 【コメンテーター】山下英愛（立命館大学）／小浜正子（日本大学） 【司会】館かおる（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）	お茶の水女子大学
1/12	D 共催 国際基督 教大学	研究会	「ジュディス・バトラー トーク会」 【講師】Judith Butler（カリフォルニア大学バークレー校） 【司会】田中かず子（国際基督教大学）	国際基督教大学
1/14	B	研究会	「パネル研究会」 韓国パネル 第2年度調査報告会	お茶の水女子大学
1/14	D	講演会	「ジュディス・バトラー講演会」 「Undoing Gender」 【講演】Judith Butler（カリフォルニア大学バークレー校） 【司会】竹村和子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）	お茶の水女子大学
1/15	D	セミナー	ジュディス・バトラーセミナー 「Critique, Dissent, and Politics」 【講演】Judith Butler（カリフォルニア大学バークレー校） 【司会】竹村和子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）	お茶の水女子大学
1/15	C6	研究会	「健康・セクシュアリティとジェンダー」 【報告者】朝倉京子（新潟県立看護大学） 「ケアワーカーの自律性に関する検討——看護師を事例に」 【コメンテーター】齊藤正美（富山大学）	お茶の水女子大学

日付	企画	事業区分	事業名	実施場所
1/16	D 視	講演会	グリゼルダ・ポロック講演会 「Visions of Sex: Wanderings in a Virtual Feminist Museum ca. 1920」 【講演】 Griselda Pollock (Univ. of Leeds, UK) 【司会】 天野知香 (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)	お茶の水女子大学
1/17	A1	若手支援	若手研究者セミナー「Life History Calendar 方法」基礎編 「Life History Calendar 方法」(調査方法)の概要 【講師】 吉浜美恵子 (ミシガン大学・COE 客員研究員)	お茶の水女子大学
1/17	D 視	セミナー	グリゼルダ・ポロックセミナー 「Disciplines, Interdisciplines and Transdisciplinary, Perspectives on Histories of Art and Culture」 【講師】 Griselda Pollock (Univ. of Leeds, UK) 【司会】 天野知香 (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)	お茶の水女子大学
1/18	A3	研究会	「ローカル・センシティブな『開発とジェンダー』政策」第9回研究会 フィリピンセブシティスラム地区におけるECD支援研究報告 【報告】 太田沙緒梨 (お茶の水女子大学大学院博士後期課程) 富田貴代子 (お茶の水女子大学大学院博士後期課程) 【司会】 熊谷圭知 (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)	お茶の水女子大学
1/23	C3	調査	〈埼玉〉産婦人科内診台調査 柘植あづみ (明治学院大学・COE 事業推進担当者) 小門穂 (京都大学大学院博士後期課程・科学技術文明研究所) 三村恭子 (COE 研究協力者)	埼玉
1/29~ 2/3	C5	調査	〈沖縄〉学校における性教育実施状況聞き取り調査 加賀谷真梨 (COE 研究員)	沖縄
1/30~ 2/4	C1/2	若手支援	第14回 Women and Gender Studies and Feminist Theories 若手研究員への学会参加旅費支援 【旅費支援対象者】 伊藤憲二 (COE 研究員)	テルアビブ
1/31	B	成果刊行	F-GENS Publication Series 12 労働組合にみるジェンダー平等「労働組合とジェンダー」調査報告書	—
1/31	C3	調査	〈東京〉産婦人科内診台調査 柘植あづみ (明治学院大学・COE 事業推進担当者) 小門穂 (京都大学大学院博士後期課程・科学技術文明研究所) 三村恭子 (COE 研究協力者)	東京
2/4	C6	研究会	「健康・セクシュアリティとジェンダー」 【報告】 斉藤正美 (富山大学) 「中ビ連をめぐる言説と女性のセクシュアリティ論について」 【報告】 田口亜紗 (成城大学民俗学研究所) 「学校保健室における身体管理の現在とその空間利用の実践」	お茶の水女子大学
2/6	C3	調査	〈東京〉産婦人科内診台調査 小門穂 (京都大学大学院博士後期課程・科学技術文明研究所) 三村恭子 (COE 研究協力者)	東京
2/7	C3	調査	〈東京〉産婦人科内診台調査 小門穂 (京都大学大学院博士後期課程・科学技術文明研究所) 三村恭子 (COE 研究協力者)	東京
2/10~ 2/22	A3	調査	〈サモア〉女性を対象とした開発プロジェクト実施状況等調査 倉光ミナ子 (お茶の水女子大学)	サモア
2/10	C3	調査	〈東京〉産婦人科内診台調査 柘植あづみ (明治学院大学・COE 事業推進担当者) 小門穂 (京都大学大学院博士後期課程・科学技術文明研究所) 三村恭子 (COE 研究協力者)	東京
2/11	A3	研究会	ケースメソッドセミナー 第2回フィールドテスト 【報告】 佐野麻由子 (立教大学大学院博士後期課程) 鳥山純子 (COE 研究員)	お茶の水女子大学

日付	企画	事業区分	事業名	実施場所
2/15	C4	成果刊行	F-GENS Publication Series 15 調査活動レポート2004・2005年度「開発」と「性と生殖に関する健康・権利」に関する研究 「アジアにおけるリプロダクティブ・ヘルス/ライツおよび女性への暴力に関する政策形成・推進過程調査から活動報告」	—
2/15～ 2/16	全 共催 COE人 間発達	若手支援	院生・若手研究者支援統計セミナー「2日でわかるパネル・データ分析」 【講師】村尾祐美子（東洋大学） 高比良美詠子（メディア教育開発センター） 内藤まゆみ（高崎経済大学）/安藤玲子（COE 人間発達研究員） 【コーディネーター】水野勲（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者） 坂元章 （お茶の水女子大学・COE 人間発達事業推進担当者） 水落正明（COE 研究員）	お茶の水女子大学
2/15	C3	調査	〈東京〉産婦人科内診台調査 小門穂（京都大学大学院博士後期課程・科学技術文明研究所） 三村恭子（COE 研究協力者）	東京
2/17	A1	若手支援	若手研究者セミナー「Life History Calendar 方法」基礎編 「Life History Calendar 方法」（調査方法）の概要 【講師】吉浜美恵子（ミシガン大学・COE 客員研究員）	お茶の水女子大学
2/18	C1/2	セミナー	「ジェンダーと科学技術史・科学技術政策」研究会セミナー 「インドにおける女性の科学者・技術者」 【報告】ニールム・クマール（インド国立科学技術開発研究所） 【司会】小川眞里子（三重大学・COE 客員研究員） 館かおる（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）	お茶の水女子大学
2/18	D 英	研究会	英語圏ジェンダー理論/表象研究会 第3回年次大会 「精神分析と表象研究」 第一部：文献討論会 「L. Bersani, <i>The Freudian Body: Psychoanalysis and Art</i> を読む」 【司会・報告】村山敏勝（成蹊大学・COE 客員研究員） 【報告】中山徹（静岡県立大学短期大学部） 遠藤不比人（首都大学東京・COE 客員研究員） 中谷崇（横浜市立大学） 第二部：研究発表会 【発表】丹羽敦子（お茶の水女子大学大学院博士後期課程） 「V・ウルフ『幕間』における現実/幻想——暗闇に自己を探る」 内堀奈保子（COE 研究員） 「クリフォード考——『七破風の屋敷』における〈フェア・マン〉の攪乱性」 【コメンテーター】松本朗（上智大学）/高尾直知（中央大学） 【司会】戸谷陽子（お茶の水女子大学）	お茶の水女子大学
2/20	C3	研究会	ポストゲノム時代における生物医学とジェンダーに関する研究会 第13回 「ファン・ウソックスキャンダルから考える ES 細胞研究のこれから」 【報告】洪賢秀（科学技術文明研究所） 「『黄禹錫神話』の崩壊と韓国社会の課題」 粥川準二（フリージャーナリスト・明治学院大学大学院修士課程） 「韓国のES細胞スキャンダルを「スキャンダル」で終わらせないために」	お茶の水女子大学
2/20～ 2/21	全 共催 COE人 間発達	若手支援	院生・若手研究者支援集中講座 「フィールドワーク」（マイクロ・エスノグラフィーの手法 [分析]) 【講師】箕浦康子（お茶の水女子大学） 【コーディネーター】熊谷圭知（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）	お茶の水女子大学
2/24	A1	若手支援	若手研究者セミナー「Life History Calendar 方法」続編 「Life History Calendar」インタビューの実際、データのコーディング・分析 【講師】吉浜美恵子（ミシガン大学・COE 客員研究員）	お茶の水女子大学
2/27	若手	若手支援	若手研究者ジェンダー・スタディーズ・ネットワーク 第1回研究会 【発表】鳥山純子（COE 研究員） 「ジェンダーの理解を目指す人類学的アプローチ、差異に発する理解」 松永典子 （お茶の水女子大学大学院博士後期課程・COE 度公募研究採択者） 「戦争を構築する語り：T.E. ローレンス『知恵の七柱』再考」 【司会】水落正明（COE 研究員）	お茶の水女子大学

日付	企画	事業区分	事業名	実施場所
2/27	C3	調査	〈東京〉産婦人科内診台調査 柘植あづみ（明治学院大学・COE 事業推進担当者） 小門穂（京都大学大学院博士後期課程・科学技術文明研究所） 三村恭子（COE 研究協力者）	東京
2/28	C3	成果刊行	F-GENS Publication Series 19 第2回若手研究者のためのワークショップ ポストゲノム時代における生物医学とジェンダー「医科学技術におけるリテラシーを考える」	—
3/1	B 共催 科研費 プロジェクト	研究会	労働組合調査研究会 「労働組合とジェンダー」調査報告会 【報告】「『労働組合とジェンダー』調査報告書」の各章の執筆者 【コメンテーター】鈴木不二一（連合総研副所長） 平澤純子（労働政策研究・研修機構研究員）	お茶の水女子大学
3/8	C3	調査	〈大阪〉産婦人科内診台調査 柘植あづみ（明治学院大学・COE 事業推進担当者） 小門穂（京都大学大学院博士後期課程・科学技術文明研究所） 三村恭子（COE 研究協力者）／洪賢秀（科学技術文明研究所） 張瓊方（科学技術文明研究所）	大阪
3/8～ 3/10	C3	調査研究会	〈大阪〉調査データ検討会および女性センター等訪問 柘植あづみ（明治学院大学・COE 事業推進担当者） 武藤香織（信州大学・COE 客員研究員） 小門穂（京都大学大学院博士後期課程・科学技術文明研究所） 三村恭子（COE 研究協力者） 洪賢秀（科学技術文明研究所）／張瓊方（科学技術文明研究所）	大阪
3/11	D日	研究会	「日本文学におけるジェンダー表象」研究会 第9回 【報告】黒田裕市（一橋大学大学院博士後期課程） 「同性愛の人種化——江戸川乱歩『孤島の鬼』」 【司会】菅聡子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）	お茶の水女子大学
3/15	C5	成果刊行	F-GENS Publication Series 14 性と生殖・国家の政策	—
3/18	C6	研究会	「健康・セクシュアリティとジェンダー」 【報告】兵藤智佳（早稲田大学現代日本研究所） 「分野横断的アクティビズムの可能性——HIV／エイズを事例に」 根村直美（日本大学・COE 事業推進担当者） 「実践倫理学における「合意」の再検討 ——契約論的アプローチとフェミニズム」	お茶の水女子大学
3/24	C1/2	研究会	「ジェンダーと科学技術史・科学技術政策」研究会 【報告】李恩京（チョンブク大学〔韓国〕） 「韓国における女性科学者と技術者の状況」 【司会】小川眞里子（三重大学・COE 客員研究員）	お茶の水女子大学
3/29	B	研究会	「パネル研究会」 中国・韓国調査 調査票検討会 【報告】水落正明（COE 研究員） 【司会】篠塚英子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）	お茶の水女子大学
3/29	C3	調査	〈東京〉産婦人科内診台調査 小門穂（京都大学大学院博士後期課程・科学技術文明研究所） 三村恭子（COE 研究協力者）	東京
3/31	全	成果刊行	F-GENS ジャーナル5号	—
3/31	A1	成果刊行	F-GENS Publication Series 13 「台湾におけるドメスティック・バイオレンス政策調査研究会」	—
3/31	C4	成果刊行	F-GENS Publication Series 16 Team C4 Studies on “Development” and “Reproductive Health/Rights” Politics for the Elimination of Violence against Women and their Children in the Republic of the Philippines: Case Studies in Metro Manila and Davao City	—
3/31	統括	成果刊行	F-GENS Publication Series 18 連携研究「アジア認識とジェンダー」シンポジウム 東アジアの『戦後』60年：軍事化とセクシュアリティ 2006年1月7日	—

1. 人事関係

1) 運営委員会名簿 (括弧内は在任期間)

ジェンダー研究 センター長・教授	館 かおる (平成16年4月1日～)	研 究 員
文教育学部教授	宮尾 正樹 (同上)	
理学部教授	増永 良文 (同上)	
生活科学部教授	戒能 民江 (同上)	
人間文化研究科教授	竹村 和子 (同上)	
文教育学部教授	米田 俊彦 (同上)	
理学部教授	真島 秀行 (同上)	
生活科学部教授	杉田 孝夫 (同上)	研究協力員
ジェンダー研究 センター教授	館 かおる (平成8年5月11日～)	
ジェンダー研究 センター教授	伊藤 るり (平成12年4月1日～)	
ジェンダー研究 センター助教授	足立真理子 (平成17年10月1日～)	
ジェンダー研究 センター専任講師	杉橋やよい (平成16年4月1日～)	

2) スタッフ名簿 (括弧内は在任期間)

センター長(併)	館 かおる (平成12年4月1日～)	
専任教授	館 かおる (平成8年5月11日～)	
	伊藤 るり (平成12年4月1日～)	
	足立真理子 (平成17年10月1日～)	
	杉橋やよい (平成16年4月1日～)	
外国人客員教授	ラセル・サラサール・パレーニャス (カリフォルニア大学デイヴィス校 アジア系アメリカ文化学科准教授) (平成17年4月～ 平成17年11月)	
	エリ・バルトラ (メキシコ都立自治大学ソチミルコ 校社会科学・人文学部政治文化学科 教授) (平成17年12月～ 平成18年3月)	
客員教授(国内)	ホーン 川嶋 瑤子 (元スタンフォード大学「女性と ジェンダー」研究所研究員) (平成17年4月1日～ 平成18年3月31日)	
	坂元ひろ子 (一橋大学教授) (同上)	
	柘植あづみ (明治学院大学教授) (同上)	
非常勤講師	原 ひろ子 (城西国際大学大学院客員教授) (平成17年4月1日～ 平成18年3月31日)	

小ヶ谷千穂 (横浜国立大学専任講師) (同上)	
宮尾 正樹 (文教育学部教授) (平成17年4月1日～ 平成18年3月31日)	
戒能 民江 (生活科学部教授) (同上)	
増永 良文 (理学部教授) (同上)	
竹村 和子 (人間文化研究科教授) (同上)	
朝倉 京子 (新潟県立看護大学助教) (平成17年4月1日～ 平成18年3月31日)	
大海 篤子 (立教大学非常勤講師) (同上)	
小山 直子 (お茶の水女子大学 COE「ジェンダー 研究のフロンティア」客員研究員) (同上)	
小門 穂 (科学技術文明研究所研究生/お茶 の水女子大学 COE「ジェンダー 研究のフロンティア」研究協力者) (同上)	
小林富久子 (早稲田大学教授・同大学ジェンダー研究所長) (同上)	
斉藤 正美 (富山大学非常勤講師) (同上)	
酒井 順子 (エセックス大学歴史学部研究員) (同上)	
佐藤(佐久間)りか (川崎市男女平等推進審議会委員/ お茶の水女子大学 COE「ジェンダー 研究のフロンティア」研究協力者) (同上)	
鈴木 伸枝 (長崎ウエスレヤン大学現代 社会学部国際交流学科教授) (同上)	
仙波由加里 (お茶の水女子大学 COE「ジェンダー 研究のフロンティア」研究協力者) (同上)	
田口 亜紗 (成城大学民俗学研究所) (同上)	
田中 俊之 (武蔵大学非常勤講師) (同上)	
中山まき子 (同志社女子大学教授) (同上)	
根村 直美 (日本大学助教) (同上)	
廣重(三木) 壽子 (横浜市立大学木原生物学研究所研究員) (同上)	

	藤掛 洋子 (東京家政学院大学助教授) (同上)
	松田 久子 (元理化学研究所非常勤職員) (同上)
	三村 恭子 (お茶の水女子大学COE「ジェンダー 研究のフロンティア」研究協力者) (同上)
	森本 恭代 (実践女子短期大学非常勤講師) (同上)
	山崎美和恵 (埼玉大学名誉教授) (同上)
研究機関研究員	林 奈津子 (平成17年4月1日～ 平成18年3月31日)
研究支援推進員	原田 雅史 (平成17年4月1日～ 平成18年3月31日)
アソシエイト・ フェロー	宮崎 聖子 (平成17年4月1日～ 平成18年3月31日)
教務補佐員	花岡ナホミ (平成17年4月1日～ 平成18年3月31日)

2. 会議関係

〈運営委員会の開催〉

平成17年4月27日／6月29日／9月5日／9月28日／11月1
日／11月28日／12月19日／平成18年2月9日

3. 研究調査活動

1) センター共同研究プロジェクト

「東アジアにおける植民地的近代とモダンガール」研究

〈国際共同研究〉〈科学研究費基盤研究A〉

〔研究担当〕

館 かおる (ジェンダー研究センター教授)

伊藤 るり (ジェンダー研究センター教授)

足立眞理子 (ジェンダー研究センター助教授)

佐藤バーバラ (成蹊大学教授)

牟田 和恵 (大阪大学教授)

洪 郁如 (明星大学助教授)

小檜山ルイ (東京女子大学教授)

坂元ひろ子 (ジェンダー研究センター客員教授・一橋大学大
学院教授)

タニ・バーロウ (ワシントン大学教授)

ヴェラ・マッキー (メルボルン大学 ARC 上級研究員)

戴 錦華 (北京大学教授)

金 恩實 (梨花女子大学校准教授)

何 璋 (本学人間文化研究科博士後期課程)

小山 直子 (ジェンダー研究センター研究協力員・本学 COE
「ジェンダー研究のフロンティア」客員研究員)

周 一川 (本学 COE「ジェンダー研究のフロンティア」研
究員〔PD〕・日本大学非常勤講師)

Angelina Chin (カリフォルニア大学サンタクルス校 Ph.D
Candidate)

ワシントン大学「Modern Girl Around the World」プロジェ
クトメンバー

宮城 晴美 (那覇市歴史資料室)

〔研究内容〕

① 1920年代、30年代のモダンガール現象に関する文献の取
集、聞き取り調査を行った。

② モダンガール研究会を開催した。

5月29日(日) 坂元ひろ子 (一橋大学)「摩登姑娘と「植民地
的」近代(試論)」、伊藤るり (お茶の水女子大学)「モダ
ンガールと女学校文化の形成——沖縄県女子師範学校と
第一高等女学校をめぐるメモ」の報告。

6月26日(日) 眞嶋亜有 (日本学術振興会 PD 特別研究員、国
際日本文化研究センター外来研究員)「〈イエロー〉とい
う運命の超克——日本エリートの洋行経験における美醜
観」、足立眞理子 (ジェンダー研究センター助教授)
「Women's Worlds 2005 世界女性学会大会」の報告。

9月23日(金) 申 明直 (熊本学園大学)「植民地朝鮮(30年
年代)における〈モダンガール〉と〈植民地近代〉」の報
告。

③ 11月2日—4日に国際ワークショップを開催した。詳細
はプロジェクト概要を参照。

「アジアにおける再生産領域のグローバル化とジェンダー配
置」〈科学研究費基盤研究A〉

〔研究担当〕

伊藤 るり (ジェンダー研究センター教授)

足立眞理子 (ジェンダー研究センター助教授)

イシカワ・エウニセ・アケミ (静岡文化芸術大学助教授)

稲葉奈々子 (茨城大学助教授・本学 COE「ジェンダー研究の
フロンティア」客員研究員)

大石 奈々 (国際基督教大学准教授)

小ヶ谷千穂 (ジェンダー研究センター非常勤講師・横浜国立
大学専任講師)

定松 文 (恵泉女学園大学助教授)

波平恵美子 (本学文教育学部教授)

安里 和晃 (龍谷大学・学術振興会特別研究員)

澤田 佳世 (ジェンダー研究センター・学術振興会特別研究
員)

「国際移動とジェンダー (IMAGE)」研究会メンバー

〔研究内容〕

「アジアにおける国際移動とジェンダー配置」研究会を開催した。

- 5月13日(金) 沢田ゆかり(東京外国語大学外国語学部助教授)による「香港の新貧困層と女子労働——東アジア「福祉国家」論への視角」の報告。
- 5月21日(土) 稲葉奈々子(茨城大学助教授)・澤田佳世(日本学術振興会特別研究員)による「香港政府の家事労働者受け入れ政策と推移」、ブレング・テネグラ(お茶の水女子大学大学院博士後期課程・COE研究員)による「家事労働者の権利状況と組織化」、小ヶ谷千穂(横浜国立大学専任講師)による「香港における移住家事労働者の組織化について——インドネシア人家事労働者の例と地元労組との相互関係を中心に」、伊藤るり(ジェンダー研究センター教授)による「グローバル化のものと香港とジェンダー再配置——二極化する社会の再生産労働と再生産労働」の報告。
- 7月9日(金) 吉岡なみ子氏(お茶の水女子大学大学院博士後期課程)による「ケア職員の専門性と施設ケア秩序——介護老人保健施設の場合」の報告。
- 7月25日(月) Evelyn Hu-DeHart(米国ブラウン大学教授・米国における人種・エスニシティ研究センター所長)による“Surviving Globalization: Immigrant Women Workers in Late Capitalist America”の報告。
- 9月1日(木) 笹谷春美(北海道教育大学札幌校教授)による「『伝統的女性労働』から『専門職』への移行は可能か——介護保険制度下の日本のケアワークのあり方」の報告。
- 10月1日(土) 小ヶ谷千穂(横浜国立大学専任講師)・安里和晃(龍谷大学・学術振興会特別研究員)による書評と大石奈々(国際基督教大学准教授)によるリブライ
“Women in Motion: Globalization, State Policies and Labor Migration in Asia”(Stanford U.P., 2005)を読む
- 11月19日(土) ラセル・パレーニャス(ジェンダー研究センター外国人客員研究員)による「東京の風俗産業におけるフィリピン女性移住者」の報告。

「健康／セクシュアリティとジェンダー」に関する研究

〔研究担当〕

- 根村 直美(ジェンダー研究センター研究協力員・日本大学助教授)
- 佐藤(佐久間)りか(ジェンダー研究センター研究協力員・川崎市男女平等推進審議会委員)

原 ひろ子(ジェンダー研究センター非常勤講師・城西国際大学非常勤講師)

中山まき子(ジェンダー研究センター研究協力員・同志社女子大学教授)

朝倉 京子(ジェンダー研究センター研究協力員・新潟県立看護大学助教授)

斉藤 正美(ジェンダー研究センター研究協力員・富山大学非常勤講師)

田口 亜沙(ジェンダー研究センター研究協力員・成城大学大学院民俗学研究所員)

田中 俊之(ジェンダー研究センター研究協力員・武蔵大学非常勤講師)

藤掛 洋子(ジェンダー研究センター研究協力員・東京家政学院大学助教授)

健康／セクシュアリティとジェンダー研究会メンバー

〔研究内容〕

「健康／セクシュアリティとジェンダー」(GHS)研究会の開催(於:附属図書館第二会議室)

4月2日(月) 田辺けい子(お茶の水女子大学大学院博士後期課程)による「女性身体の医療人類学的考察:無痛分娩が普及しない背景」の報告。

6月25日(土) 東 優子(大阪府立大学人間社会学部社会福祉学科)による「性別違和と自己決定:失敗する自由について」の報告。

7月24日(日) 根村直美(日本大学経済学部)による「『自己決定』概念の道徳哲学的検討」の報告。

9月24日(土) 田中俊之(武蔵大学社会学部)による「『男性問題』としての不妊——くもらしさと生殖能力の関係をめぐって」の報告。

10月22日(土) 柳原良江(お茶の水女子大学)による「日本における女性の自己決定権の変遷と現状——セクシュアリティ研究における自己決定概念の展開の一助として」の報告。

12月3日(土) 菅野摂子(立教大学大学院)による「知らせないことは可能か?~超音波検査における胎児の状態の認知と告知~」の報告。

1月15日(日) 朝倉京子(新潟県立看護大学)による「ケアワーカーの自律性に関する検討——看護師を事例に」の報告。

2月4日(土) 斉藤正美(富山大学)による「中ピ連をめぐると言説と女性のセクシュアリティ論について」と田口亜紗(成城大学民俗学研究所)「学校保健室における身体管理の現在とその空間利用の実践」の報告。

3月18日(土) 根村直美(日本大学経済学部)による「実践倫理学における「合意」の再検討——契約論的アプローチとフェミニズム」と兵藤智佳(早稲田大学現代日本研究所)による「分野横断的アクティビズムの可能性～HIV／エイズを事例に」の報告。

「医療機器の開発・応用とジェンダー」

〔研究担当〕

柘植あづみ(ジェンダー研究センター客員教授・明治学院大学教授・本学 COE「ジェンダー研究のフロンティア」事業推進担当者)

仙波由加里(ジェンダー研究センター研究協力員)

〔研究内容〕

若手ワークショップ(本学 COE との共催)

(於:長野県北佐久郡軽井沢町)

10月6日(木) 柘植あづみ(明治学院大学)による「医療における意思決定の日米比較」の報告。

10月7日(金) 渡邊智子(丸山産婦人科医院)による「女性の生涯をどのように支えるか——産婦人科開業医として」、佐藤(佐久間)りか(ジェンダー研究センター)による「EBM(evidence-based-medicine)とNBM(narrative-based-medicine)——ジェンダーの視点から」、小門穂(科学技術文明研究所/京都大学大学院博士後期課程)・三村恭子(ジェンダー研究センター)による「産婦人科内診台のデザインと女性への考慮に関する考察」、武藤香織(信州大学)による「社会化するDNAアイデンティティ——オーダーメイド医療から鑑定ビジネスまで」の報告。

10月8日(土) 洪 賢秀(科学技術文明研究所)による「韓国における不妊女性の居場所」と張瓊方(科学技術文明研究所)による「台湾の出産事情と優生思想から考える」の報告。

10月9日(日) 丸山産婦人科医院見学

「大学におけるハラスメントの現状と防止策について」

〔研究担当〕

戒能 民江(ジェンダー研究センター研究員・本学生活科学部教授)

大理奈穂子(お茶の水女子大学大学院博士後期課程)

上田 智子(横浜市立大学非常勤講師)

辻 智子(早稲田大学非常勤講師)

〔研究内容〕

① 21世紀 COE プログラム「ジェンダー研究のフロンティア」のプロジェクト A-1 に、セクシャルハラスメント/アカデミックハラスメント研究班として組み込まれた。

② キャンパス・セクシャルハラスメントに関する欧米の文献を収集、分析した。

③ 本学セクシャルハラスメント等人権委員会のワーキング・グループに参加し、セクシャルハラスメント等人権侵害実態調査の調査設計をした。

「ジェンダー研究情報の提供システムの研究」

〔研究担当〕

増永 良文(ジェンダー研究センター研究員・本学理学部教授)

館 かおる(ジェンダー研究センター教授)

小山 直子(ジェンダー研究センター研究協力員・本学 COE「ジェンダー研究のフロンティア」客員研究員)

〔研究内容〕

Web 世界におけるジェンダー関連コミュニティのリンク解析を行い、ジェンダーポータルサイトによる情報提供システムの研究を行った。「Web コミュニティの動的分析手法を用いたジェンダー研究ポータルサイトの構築」(科学研究費補助金基盤研究(B)(2)研究代表者増永良文)と連携して研究を進めた。

2) 外国人客員教授関連プロジェクト

「エンターテイナー——日本におけるジェンダーと国際移動」

〔研究担当〕

ラセル・サラサール・パレーニャス(カリフォルニア大学デヴィス校アジア系アメリカ文化学科准教授)

伊藤 るり(ジェンダー研究センター教授)

小ヶ谷千穂(ジェンダー研究センター非常勤講師・横浜国立大学専任講師)

林 奈津子(ジェンダー研究センター研究機関研究員)

原田 雅史(ジェンダー研究センター研究支援推進員)

〔研究内容〕

ラセル・サラサール・パレーニャス准教授が2005年6月13日、27日、7月4日、11日、19日の全5回にわたり、夜間セミナー「女、移動、そして再生産労働の政治」を行った。夜間セミナーでは女性の移動と再生産労働の政治に焦点をあて、グローバリゼーションのなかで増大するケア労働者の移動や、

グローバル経済のもとで進む、より金持ちの女性からより貧しい女性への再生産労働の移転といった問題に注目した。そのうえで、再生産労働のトランスナショナルな商品化が、女性の地位やフェミニズムの視点から見た女どうしの関係にどのような意味をもたらすのかという問題を取り上げた。参加者349名。

「日本における女性とフォークアート」

〔研究担当〕

エリ・バルトラ（メキシコ都立自治大学ソチミルコ校社会科学・人文学部政治文化学科教授）

伊藤 るり（ジェンダー研究センター教授）

浅倉 寛子（お茶の水女子大学大学院博士後期課程）

林 奈津子（ジェンダー研究センター研究機関研究員）

原田 雅史（ジェンダー研究センター研究支援推進員）

〔研究内容〕

エリ・バルトラ教授が2005年12月15日、22日、2006年1月12日、19日、26日の全5回にわたり、夜間セミナー「ラテンアメリカにおけるフェミニズムと民衆文化」を行った。夜間セミナーでは、周縁化されたアート及びその担い手である女性制作者に関する分析を通して、芸術と政治、さらにはそれらがエスニシティ、階層、ジェンダーと複雑に絡み合う様相をメキシコとブラジルの事例を通して明らかにした。参加者126名。

3) センター個人研究

「ジェンダー統計視点による男女間所得格差の国際比較研究——『男性稼ぎ主』型を考える」

〔研究担当〕

杉橋やよい（ジェンダー研究センター専任講師）

〔研究内容〕

本研究では第一に、賃金／所得における「男性稼ぎ主」型の度合いを、マイクロデータを用い時系列的に分析し、国際比較を行った。この課題に取り組むために、共働き世帯に分析対象を限定し、(a)男女それぞれの絶対的な所得水準、そして(b)男女間の賃金／所得格差、(c)男女それぞれの間での所得格差（所得階層）を分析し、(d)妻と夫の勤労所得の比較検討をした。(a)～(d)の分析は、すべて同じサンプルを用いて行った。第二に、労働統計および家計統計で使われている概念や集計・表示の問題などを、ジェンダー統計視点から、検討し改善案を提示した。

「日本の『未亡人』——歴史・戦争の遺産・現代」及び「女性と子供の貧困——日本とアメリカ」

〔研究担当〕

青木デボラ（ジェンダー研究センター客員研究員・北星学園大学短期大学部教授）

〔研究内容〕

文化人類学の視点から日本の「未亡人」研究を、歴史的な呼称の変化、戦争の遺産、階層性、現代の多様な生き方などに注目して分析することを目的に研究を行った。4月に開催された研究委員会でも研究報告を行い、単行本刊行にむけて、執筆活動を進めた。

「江戸時代のジェンダーの地理学」

〔研究担当〕

マーシャ・ヨネモト（ジェンダー研究センター客員研究員、コロラド大学ボルダー校准教授）

〔研究内容〕

近世の女訓書、旅日記と戯作に現れている「場所」と「空間」と「ジェンダー」の概念について検討し、近世のジェンダー概念の人文地理学的、あるいはフェミニスト地理学的視点からの考察を進めた。

「女性と選挙に関する研究」

〔研究担当〕

大海 篤子（ジェンダー研究センター研究協力員・立教大学非常勤講師）

〔研究内容〕

1. 2005年9月11日に総選挙があり、全国の女性候補者の選挙活動をJAWS（日米女性政治学者シンポジウム）メンバーと手分けして調査。大海担当は新潟（西村ちなみ、菊田真紀子、田中真紀子）、東京（小池百合子、小宮山洋子、石毛えい子）の選挙活動を調査、秘書や選挙事務所員とインタビューを行い、報告書を作成。その報告書を基に、次年度は、Political Recruitmentに関する本をまとめる予定である。
2. 自著出版『ジェンダーと政治参加』、世織書房、2005年8月15日発行。
3. 「ゆらぐ〈男女共同参画〉」『季刊ピープルズ・プラン』33 2006年冬、2006年2月28日発行。pp.82～89。
4. 文部科学省委託事業上へのチャレンジ支援事業、富山県

高岡市、ステップアップ高岡のプロジェクトにおける「昔の選挙聞き取り」調査の指導。

このプロジェクトは地域の活動の活性化事業で、その一部として60年前の選挙への参加に関して聞き取り調査を行う目的で募集した未経験者に、調査の目的方法などを指導、3月に報告書が出来上がった。

5. 千葉市女性センター、神奈川女性センター、府中女性センターなどで、女性と政治の政治参画に関して連続講座などを行った。

「オーラルヒストリー研究法によるジェンダー・移民・グローバリゼーション研究——英国在住日本人男女のライフ・ストーリーを例として」

〔研究担当〕

酒井 順子（ジェンダー研究センター研究協力員・エセックス大学歴史学部研究員）

〔研究内容〕

本年度は、オーラル・ヒストリーの方法論に関する議論、特にイギリスにおける方法論の発展に関して整理を行った。具体的成果としては、第1に、イギリス女性史・ジェンダー史におけるオーラル・ヒストリーの貢献を総括的にまとめることを試みた。特にイギリス女性史にジェンダー概念が導入されたとき、また1990年代に歴史構築主義が発展した時期に、イギリスの女性史オーラル・ヒストリー研究者がそれらの議論にどのように関わったかについての考察を試みた。第2に、『日本オーラル・ヒストリー研究』創刊号（3月24日発行）によせて、「イギリスにおけるオーラル・ヒストリーの展開」という題目で論文を書き、1970年代から今日までのオーラル・ヒストリーにおける方法論上の議論を4段階（more-history, anti-history, how-history, public-historyの4種にカテゴリー化）に分けて整理してみた。

「ジェンダーによる暴力とフランスの中国人移民」

〔研究担当〕

マリレーヌ・リーベル Marylene Lieber（ジェンダー研究センター研究協力員・Ph.D. candidate in Sociology, Université de Versailles-Saint-Quentin-en-Yvelines, Laboratoire Printemps/CNRS, France）

〔研究内容〕

本研究ではフランスにおける中国人移民のジェンダー的側面に焦点をあてた。特にジェンダー的暴力の問題を中心に扱

い、フランスに移民した中国人移民を例に中国人男性と女性がどのような過程を経てジェンダー化をはかっていったのか、そのプロセスを明らかにした。

「研究者とNGOの接点を探る——在日比家族エンパワメントのための教育ビデオ作成の可能性」

〔研究担当〕

鈴木 伸枝（ジェンダー研究センター研究協力員・長崎ウェスレヤン大学教授）

〔研究内容〕

本研究は、10年強在日フィリピン人コミュニティで活動している信徒宣教師と彼の所属するNGOと協働し、在日の日本人配偶者であるフィリピン女性とその家族のエンパワメントのための教育ビデオ作成を試みている。当初予定の内容は、当該女性とその配偶者がそれぞれ反省的に自文化を捉えなおし、相手の文化背景を習うのみならず、彼らの抱える問題を広く日比の文化圏やその歴史・政治経済に照らし理解を促すことを目的とした。ビデオ作成に関しては、本研究者の論文等を元に、女性、ジェンダー関係、婚姻の意味、家族関係、子育て、文化などのテーマを決め、フィリピン大学関係のクリエイティブライター数人に、シナリオ化してもらうようアプローチを試みた。しかし、共同作業からの要請で、女性（とその夫）を中心とした文化教育から、二文化に育つ（べき）子供の教育問題へテーマを変更することになり、現在内容を再検討し具現化に向け作業中である。

「戦争とジェンダーに関する研究」

〔研究担当〕

森本 恭代（ジェンダー研究センター研究協力員・実践女子短期大学非常勤講師）

〔研究内容〕

本研究では、戦争はいかにして国民的な記憶となるか、その際、ジェンダーはどのように動員されるか、今日の日本の文脈で考察した。日本の戦争体験を語る態度は、しばしばアンビバレントな様相を呈しているようにみえる。一方では、植民地支配への反省があり、他方では、占領や被害への「痛み」が強調される。近年、過去の戦争体験を後世に伝えることを旨とする博物館や資料館が複数設置されている。そこで構成される「銃後」の女性像や「遺族」といったアイデンティティとジェンダー化の機制について、その関連性を検討した。

「戦後沖縄の出生力転換と女性たちの交渉——出生力要因のジェンダー分析にむけて」

〔研究担当〕

澤田 佳世（ジェンダー研究センター・日本学術振興会特別研究員）

〔研究内容〕

本研究の目的は、戦後沖縄の出生力転換とその説明要因について、米軍統治期の人口と生殖をめぐるポリティクスのありようと、生殖の意思決定をめぐる女性の交渉力の拡大プロセスに注目し、沖縄固有の政治・文化・社会経済的文脈と関連付けながらジェンダーの視座に立ち探究することである。この目的を達成するために、次の3つの研究を並行して進めた。①1950年代・60年代の国際的・地域的文脈を注視しながら、米軍統治下沖縄の「人口問題」、優生保護法と中絶・避妊、家族計画をめぐるポリティクスのありようを、公文書や各種雑誌・新聞・記念誌などの歴史資料と関係者への聞き取りをもとに描き出す。②女性の人生の歴史的変化（とくに、教育・職業・パートナーシップ関係の変化）に焦点をあて、出生力をめぐる意思決定プロセスの変容を考察する。具体的には、3世代にわたる女性の聞き取りと生活史料をライフストーリーの手法で分析する。③出生力転換に関する統計資料と①②の分析内容を比較検討し、生殖を規定する重層的な権力構造に対する女性の交渉プロセスを詳述しながら、戦後沖縄の出生力転換とその説明要因をジェンダーの視点から解明する。

「ジェンダーと人間の安全保障——平和構築のプロセスにおける女性参画の問題」

〔研究担当〕

林 奈津子（ジェンダー研究センター研究機関研究員）

〔研究内容〕

本研究ではポスト・コンフリクトにおける人間の安全保障の問題について理解を深めるべく、紛争からの回復過程における戦争被災者（特に女性）の社会統合の問題について考察した。親、兄弟、姉妹を戦争で奪われた子供達が自ら銃をとって少年兵となり、愛する子供と夫を殺された女性が生きるすべを失って自らがテロリストとなって自爆の道を選ぶ。この「復讐の連鎖」によって根の深い紛争（Deep-rooted Conflict）になってしまった内戦の解決を促し、また紛争予防と平和構築の強化につながるポスト・コンフリクト戦略のあり方を考えることを本研究の最大の眼目とした。

「植民地期台湾における女子青年団——1940年代を中心に」

〔研究担当〕

宮崎 聖子（ジェンダー研究センターアソシエイト・フェロー）

〔研究内容〕

植民地期1940年代の台湾における女子青年団の政策を解明することを目的とした。その上で、植民地の女性と帝国について、文献、フィールドワークをもとにジェンダーと経済階層に着目して考察した。

4) 21世紀 COE プログラム

「ジェンダー研究のフロンティア——〈女〉〈家族〉〈地域〉〈国家〉のグローバルな再構築」

〔研究担当〕◎はリーダー

●プロジェクトA

◎戒能 民江（本学人間文化研究科ジェンダー学際研究専攻教授）

伊藤 るり（ジェンダー研究センター・人間文化研究科人間発達科学専攻教授）

熊谷 圭知（人間文化研究科ジェンダー学際研究専攻助教授）

足立真理子（ジェンダー研究センター助教授・人間文化研究科人間発達科学 専攻助教授）

●プロジェクトB

御船美智子（人間文化研究科ジェンダー学際研究専攻教授）

永瀬 伸子（人間文化研究科ジェンダー学際研究専攻助教授）

水野 勲（人間文化研究科ジェンダー学際研究専攻助教授）

◎篠塚 英子（人間文化研究科ジェンダー学際研究専攻教授）

●プロジェクトC

◎館 かおる（ジェンダー研究センター・人間文化研究科ジェンダー学際研究専攻教授）

原 ひろ子（ジェンダー研究センター非常勤講師・放送大学大学院総合文化プログラム文化情報科学群教授）

武藤 香織（ジェンダー研究センター非常勤講師・信州大学医学部専任講師）

波平恵美子（人間文化研究科比較社会文化学専攻教授）

●プロジェクトD

◎竹村 和子（ジェンダー研究センター研究員・人間文化研

究科比較社会文化学専攻教授)

天野 知香 (人間文化研究科比較社会文化学専攻助教授)

石塚 道子 (人間文化研究科比較社会文化学専攻・ジェンダー学際研究専攻教授)

菅 聡子 (人間文化研究科国際日本学専攻助教授)

●間プロジェクト研究事業

A「政策と公正」、B「少子化とエコノミー」、C「身体と医療・科学・技術」、D「理論構築と文化表象」の4プロジェクト編成で研究を進め、〈女〉〈家族〉〈地域〉〈国家〉のグローバルな再構築を行い、より高次の「人間開発」をめざす。また、プロジェクト別の研究のほかに、間プロジェクト研究事業として、(1)ジェンダー平等指標を検討する大規模パネル調査、(2)近代社会のジェンダー／セクシュアリティに関する文化表象のデータベース作成、(3)連携型研究「アジア認識とジェンダー」を進め、プロジェクトを超えた研究の統合を図る。さらに、プロジェクトへの積極的な参画体制および研究支援体制を整備して、次世代のジェンダー研究教育、男女共同参画社会の担い手の育成を進めている。

・ジェンダー平等指標のパネル調査

御船美智子、永瀬 伸子、篠塚 英子、水野 勲

・文化表象のデータベース作成

竹村 和子、天野 知香、石塚 道子、菅 聡子

・統括研究 ジェンダー研究と〈アジア〉

戒能 民江、館 かおる ほか

5. 研究交流・社会連携活動

平成17年4月より平成18年3月の間の活動は次の通りである。

1) 研究委員会

平成17年4月25日(月)

青木デボラ (ジェンダー研究センター客員研究員・北星学園大学短期大学部教授) による報告

各プロジェクトの進捗状況報告、次年度の体制について話し合い

2) セミナー・ワークショップ

① ラセル・サラサール・パレーニャス (カリフォルニア大学デイヴィス校アジア系アメリカ文化学科准教授)

夜間セミナーを2005年6月13日、27日、7月4日、11日、19日に開催。

② エリ・バルトラ (メキシコ都立自治大学ソチミルコ校 社会科学・人文学部 政治文化学科教授)

夜間セミナーを2005年12月15日、22日、2006年1月12日、

19日、26日に開催。

3) 関連研究会

① 「映像表現とジェンダー」研究会

【研究統括】小林富久子 (ジェンダー研究センター研究協力員・早稲田大学教授)、館かおる (ジェンダー研究センター教授)

② 「国際移動とジェンダー (IMAGE)」研究会

【研究統括】伊藤るり (ジェンダー研究センター教授)

6. 教育研修活動

1) 研究生・研究員

① 研究生

陳 欣欣 (平成17年4月1日～平成18年3月31日)

② 研究員

平野 恵子 (日本学術振興会特別研究員)

澤田 佳世 (日本学術振興会特別研究員)

2) 学部出講・大学院担当

館 かおる

コア・クラスター「ジェンダー」コース：知の生成論 (後期)

学部：社会教育特講 I (教育とジェンダー) (前期)

人間文化研究科博士前期課程 発達社会科学専攻

開発・ジェンダー論コース：

ジェンダー関係論 (前期)

ジェンダー関係論演習 (後期)

開発・ジェンダー論特論 (前期)

人間文化研究科博士後期課程 人間発達学専攻

ジェンダー論講座：

ジェンダー史論演習(1) (通年)

ジェンダー史論演習(2) (通年)

伊藤 るり

コア・クラスター「ジェンダー」コース：グローバル化論 (前期)

学部：比較ジェンダー論／国際ジェンダー論 (前期)

人間文化研究科博士前期課程 発達社会科学専攻

開発・ジェンダー論コース：

開発・ジェンダー論特論 (前期)

比較ジェンダー開発論 (前期)

比較ジェンダー開発論演習 (前期)

ジェンダー論特別講義 (前期)

国際協力論演習 (後期)

国際社会ジェンダー論 (前期)

国際社会ジェンダー論演習 (後期)

人間文化研究科博士後期課程 ジェンダー学際研究

ジェンダー論講座：

国際女性開発論演習(1) (前期)

国際女性開発論演習(2) (後期)

足立真理子

学部：ジェンダー論 (後期)

人間文化研究科博士前期課程 発達社会科学専攻

開発・ジェンダー論コース：

開発経済学 (後期)

7. 社会的貢献

ジェンダー研究センター

- ・諸外国／国内の女性関係行政部門、民間団体(NGOの女性問題担当者等)、研究者等の視察受け入れ、日本の男女共同参画等現状等について解説

館 かおる

〈他大学出講〉

- ・埼玉大学教育学部非常勤講師 総合学習研究「女性の生き方と教育」(平成17年10月3日～平成18年3月24日)

〈委員〉

- ・ゆがわら男女共同参画懇話会委員
(平成15年10月1日～平成17年9月31日)
- ・日本学術会議社会学研究連絡委員会委員
(平成15年10月16日～平成18年10月15日)
- ・独立行政法人国立女性教育会館運営委員
(平成17年8月1日～平成19年7月31日)

伊藤 るり

〈他大学出講〉

- ・津田塾大学 社会組織研究 (大学院)
(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

〈委員〉

- ・国立女性教育会館研究紀要紀要協力委員
(～平成17年8月31日)
- ・男女共同参画会議 苦情処理・監視専門調査会委員
- ・外務省独立行政法人評価委員会委員
(平成17年9月1日～平成19年8月31日)
- ・龍谷大学 課程博士論文審査委員 (～平成17年8月31日)
- ・かながわ国際政策推進懇話会専門委員 (平成12年度～)
- ・Indian Journal of Gender Studies (Sage Publications, New Delhi, Thousand Oaks, London) 編集顧問
- ・Estudios de Asia y Africa (メキシコ)

足立真理子

〈委員〉

- ・日本フェミニストカウンセリング学会 代表理事
- ・東京大学ハラスメント防止委員会委員

(平成16年5月1日～平成18年3月31日)

杉橋やよい

〈他大学出講〉

- ・中央大学経済学部「応用統計」・「演習論文」後期
(平成17年4月1日～18年3月31日)
- ・アジア工科大学院大学「国際協力論演習」(「ジェンダーと開発」)(平成18年2月19日～平成18年3月19日)

〈委員〉

- ・独立行政法人国立女性教育会館 客員研究員
(平成17年4月1日～平成18年3月31日)
- ・川崎市男女平等推進審議会委員
(平成16年11月25日～平成17年5月27日)

8. 文献・資料収集／情報提供／閲覧活動

1) 主要収集資料

国際移動とジェンダーに関する文献・資料／ジェンダーとセクシュアリティに関する文献・資料／開発とジェンダー教育に関する文献・資料／女性と自然科学者に関する文献・資料／リプロダクティブ・ヘルス／ライツに関する文献・資料／アジアの女性政策と開発に関する文献・資料／東アジアの女性政策に関する資料／「東アジアにおける植民地的近代とモダンガール」に関する研究資料など

2) 資料提供

- ・女性科学者(湯浅年子、辻村みちよ、黒田チカ、保井コノ等) 関係の資料
- ・東京女子高等師範学校関係の資料
- ・その他、ジェンダー研究センター刊行物等

3) リファレンスサービス資料及び情報の提供・閲覧・貸出・常設展示

- ・コピーサービス：常時附属図書館情報サービス・情報システム係で担当
- ・ホームページ(和文・英文)の更新実施
- ・図書以外に関する情報提供
- ・ニュースレター「IGS通信」発行

4) 図書・資料寄贈(敬称略)

掲載は、和書：寄贈者名『書名』(著者名)、洋書：寄贈者名 書名(イタリック)(著者名)の順とした。

杉浦敏子『ハンナ・アーレント入門』(杉浦敏子)、栗原涼子『アメリカの女性参政権運動史』(栗原涼子)、栗原涼子『日米女性参政権運動史』(栗原涼子)、河村太美雄『ふるさとへの道』(河村太美雄)、篠崎正美『北九州市女性の100年史 おんなの軌跡 北九州』(北九州市女性史編纂実行委員会)、小野ゆり子『娘と女の間』(小野ゆり子)、竹下賢、角田猛之『マルチ・リーガル・カルチャー改訂版』(竹下賢、角田猛之)、今井弘道『新・市民社会論』(今井弘道)、青弓社『戦後・暴力・ジェンダー1 戦後思想のポリティクス』(大越愛子・井桁碧)、細井啓子『コンプレックスアラカルト』(細井啓子)、竹村和子『ジュディス・バトラー』(サラ・サリー、竹村和子他訳)、古郡鞆子『女性と税制』(クラウディア・スコット編、古郡鞆子編訳)、村松泰子『メディアがつくるジェンダー日独の男女・家族像を読みとく』(村松泰子、ヒラリア・ゴスマン)、山野和子さんを偲ぶ会実行委員会『風となれ土となれ』(山野和子記念文集刊行会)、鈴木紀子『〈悪女〉の文化誌』(鈴木紀子、林久美子、野村幸一郎編著)、学校法人跡見学園『跡美花蹊日記』第一巻～第四巻(跡美花蹊)、青森県図書館史編集委員会『青森県立図書館史』(青森県立図書館史編集委員会)、東京教育大学附属中学校『東京教育大学附属中学校二十年史』(東京教育大学附属中学校)、坂東眞理子『昭和女子大学女性文化研究叢書 第五集 輝く女性たち——光葉の三五名』(昭和女子大学女性文化研究所)、長島淳子『幕藩制社会のジェンダー構造』(長島淳子)、聖徳大学川並記念図書館『聖徳大学言語文化研究所 論叢13』(聖徳大学言語文化研究所)、大学非常勤講師問題会議『大学危機と非常勤講師運動』(大学非常勤講師問題会議)、戒能民江『DV防止とこれからの被害当事者支援』(戒能民江)、『性暴力問題資料 第14巻』(不二出版)、『性暴力問題資料集成 第15巻』(不二出版)、河野貴代美『女性とジェンダーの心理学ハンドブック』(R・ケスラー・アンガー編著)、『近代という名の女性』(水村和子)、『母親の社会史：中世から現代まで』(イヴォンヌ・クニピレール、カトリーヌ・フーケ著)、『女性の人権と現代社会』(上智大学社会正義研究所、国際基督教大学社会科学研究所編)、『氷点』(三浦綾子著)、『働く女性の実情平成9年版』(労働省婦人局編)、原ひろ子『北京大学婦女問題国際検討会論文集』(北京大学中外婦女問題研究中心)、太田麻希子ほか *Report AIT Workshop 2005 March 6-19, 2005 Activities for rights of female migrant workers in Thailand*、金恩實 *Women's Studies in China: Mapping the Social, Economic*

and Policy Changes in Chinese Women's Lives (DU Fang-qin and ZHENG Xinrong)、金恩實 *Women's Experiences and Feminist Practices in South Korea* (CHANG Pilwha and KIM Eun-Shil)、金恩實 *Women's Studies in India: Some Contemporary Contours* (Pooja Juyal and the Faculty of Isabella Thoburn College)、金恩實 *Gender, Culture & Society: Selected Readings in Women's Studies in the Philippine* (Carolyn SOBRITCHEA)、金恩實 *Gender, Culture & Society: Women's Studies in Taiwan* (Wei-hung LIN and Hsiao-Chin HSIEH)、金恩實 *Power, Knowledge and Justice* (Suwanna SATHA=ANAND)、金恩實 *Indonesian Women in a Changing Society* (Kristi POERWANDARI)、Eiko Kenjoh *Balancing Work and Family Life in Japan and Four European Countries: Econometric Analyses on Mothers' Employment and Timing of Maternity* (Eiko Kenjoh)、Hisako Inaba *CROSS-CULTURAL LEARNING OF JAPANESE MARRIED WOMEN WHO LIVED IN THE UNITED STATES* (Hisako Inaba)、Rhodak K. Unger *Handbook of the Psychology of Women and Gender* (Rhodak K. Unger)、*Girls and mathematics: the early years: a review of literature and an account of original research*, (Rosie Walden and Valerie Walkerdine)